

7月29日(土)は午後、
後藤総合車両所へ見学にいきます👏
お楽しみに! 🎉 🎉 🎉

8月にミニ映画館を企画しています。
夏休みに他の行事もできたらなと考えています。



6月24日(土)、フレンチトースト&ラスクを作りました。

ふたり一組のチームになり、手順に従って慎重に作ることができました。
飾りつけもひとりひとりの個性が出ていて楽しそうでした。



6月17日(土)、18日(日) 夢みなとタワーで『第3回 ほっとはあと&福祉ふれあいまつりin夢みなとタワー』
が開催され、お子様の作品を展示しました。

ぼくたちも
おうえんに
来たよ!



”わこう”らしい展示となりました。次回も楽しみです!

玄関先で、色々な苗や種を植えて育てています。

ぐんぐん伸びています！



平成29年度 鳥取県障害福祉サービス従事者
障がい分野別基礎研修〈精神障がい〉を受講しました。

6月5日(月)に倉吉市で行われた研修に参加してきました。

精神障がいはMRIやCTには写らない、経験ではかることができる障がいである為、私たち支援者にも決して答えがあるものではないという事を改めて勉強させて頂きました。

特に印象に残っている言葉として・・・「障がいを持たれている方の思いを聞いていますか？ 私たち支援者の思いを押しつけてはいませんか？」

この言葉をいつも胸に留め、支援を続けていきたいと思います。
本人・そしてご家族様の不安が少しでも軽減できますように……

支援員 門永 麻美

平成29年5月29日(月)、琴浦町生涯学習センター「まなびタウンとうはく」にて、鳥取県障害福祉サービス従業者障がい分野別基礎研修【知的障がい分野】があり、真山・竹本の二名が参加させていただきました。

内容としては、「知的障害のある人の特性と支援」、「家族の思い～知的障がいのある人の地域での暮らし～」、「鳥取県における知的障がいのある人の現状」、「最重度の方の地域生活」について、お話を聴かせて頂きました。

このたびの研修を受け、障がいの特性を理解すること、障がいのある方自身を理解すること、共に支援するためには、とても大切であることを学びました。

特に印象に残ったことは、ペアレントメンターの方より家族の思いとして、ご家族の方は支援者に「障害を理解した適切な支援」を望んでおられるということです。

私はこの研修で初めて知ったのですが、このペアレントメンターとは、自閉症・発達障がいの子育ての経験を生かして、ほかの保護者の良き相談相手となれるよう、ペアレントメンター養成研修を受講・終了した先輩保護者の方のことだそうで、ペアレントメンターの方は、専門機関等と連携・協力して、子どもへの関わり方などの相談をはじめ、様々な活動をされているそうです。

今回の研修を受け、お子様・御家族様との信頼関係を大切に、自分自身を振り返り、勉強を重ねていきたいと思いました。

支援員 真山 幸江

今回4つの講義を受け、医学分野の話・行政(受給サービス・相談支援・就労支援・自立訓練)・施設及び支援員としての対応のあり方などのお話を伺いました。

特に印象強く伺ったのが、画家の山下清の話でした。ひとりの職員との出会いで、今まで眠っていた才能が掘り起こされたとのことでした。

(鳥取大学地域学部 小林勝年さんのお話から)

とても得意なことがあるのに、何でもないようなことがすごく苦手……誤解されやすく、社会生活の中でも困っている人たちはです。

しかし、周りの方達の理解と支えがあれば、障害を持ちながら働き、地域で生活している人、社会的に成功を収めている人もたくさんいます。

(県立鹿野かちみ園 森田玲子さんのお話から)

お子さま、一人一人が一緒(個人差・特性)ではないことを考えての信頼関係を深めていきたいと思います。

支援員 竹本 昭博

もう少しで夏休みが始まります。楽しくて充実した夏休みになるようにスタッフで知恵を絞りつつ～安全にも配慮していきます。ご意見、ご要望等ございましたらどんな些細なことでも構いませんので、お知らせくださいませ。

2017/6/30

こどもデイサービス

わこう

皆生通り

